

防災と地理教育

—東日本大震災からの教訓を生かして—

東日本大震災では、津波という自然の仕組みを理解し、想定外の地震に関しても地域の地形や適切な避難経路を認識できる防災教育の在り方が、「命」の明暗を分けたといわれている。高等学校新学習指導要領「地理 A」に単元「自然環境と防災」が新設され、地理教育においても地図/GIS（地理情報システム）を利用した地域の自然・環境学習にもとづく防災教育が重視されている。また、日本学術会議が2011年8月3日に提言した高校地理歴史科教育における「地理基礎」「歴史基礎」新設科目の必修化など防災教育としての地理教育の重要性は増している。「自然と人間のかかわり」を学ぶ地理教育の視点から、防災教育のありかたを考えてみる。

日時：2011年 8月19日(金) 13:00～17:00 (会場がキャンパス内で変更になっています。)

場所：慶應義塾大学日吉キャンパス「**来往舎**」(横浜市港北区日吉4-1-1)大会議室

東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅 徒歩1分

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html>

主催：日本学術会議地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会

後援：地理学連携機構(学会・学協会が29加盟 <http://www.soc.nii.ac.jp/ajg/JOGS/>)



交通アクセス

- ・東急東横線、東急目黒線
- ・横浜市営地下鉄グリーンライン
- 日吉駅下車、徒歩1分

※東急東横線の特急は日吉駅に停車しません。

※渋谷～日吉：25分(急行約20分)

※横浜～日吉：20分(急行約15分)

※新横浜～菊名～日吉：20分

「来往舎」は下図の10番建物です。



プログラム (参加希望者は、地理学連携機構のホームページから申し込んでください。)

趣旨説明 13:00～13:10 田村和 日本学術会議連携会員 (立正大教授)

講演1 13:10～15:10 <司会 春山成子 日本学術会議連携会員 (三重大教授)>

地域の自然に学ぶ大地震と津波のリスク 奥村晃史 日本学術会議連携会員 (広島大教授)

コミュニティーベースでGISを用いた防災マップ作製事業の効果と限界 宮城豊彦 (東北学院大教授)

学校での地震防災教育と地図の利用 村山良之 (山形大教授)

休憩 15:10～15:20

講演2 15:20～16:20 <司会 熊木洋太 日本学術会議連携会員 (専修大教授)>

高校地理教育における地図教育の改善について —特にGISの活用と防災教育を視野に—

伊藤智章 (静岡県吉原高校教諭)

高校地理教育における地図教育の現状と課題 新堀 毅 (都立日比谷高校教諭)

総合討論 16:20～16:50 <司会 田村俊和・春山成子・熊木洋太>

総括 16:50～17:00 碓井照子 日本学術会議会員 (奈良大教授)